

## SignDK for DocuSign eSignature 初期設定マニュアル

---

1. 概要	2
2. プラグインのインストール	2
3. アプリへのプラグインの追加	3
4. DocuSignのサンドボックス環境における DocuSign と kintone との連携設定	4
4-1. 「開発者向けアカウント」と「サンドボックス」の作成	4
4-2. kintone アプリの「リダイレクト URI」の取得	5
4-3. DocuSign の「アプリとキー」の設定	6
4-4. kintone のフォームの設定	7
4-5. 送信対象添付ファイル設定	10
4-6. DocuSign 連携設定	12
5. サンドボックス環境における動作確認	13
6. API キーのレビュー	14
6-1. kintone 側での API のレビュー	14
6-2. DocuSign 側での API のレビューの開始	15
7. DocuSign 本番環境へのリリース	16
7-1. サンドボックス環境から本番環境へのアプリのリリース	16
7-2. 本番環境にて「アプリとキー」を設定する	17
8. kintone のプラグイン設定の更新	19
8-1. インテグレーションキーと秘密鍵の更新	19
8-2. kintone プラグインで DocuSign 本番環境へログイン	20
9. 本番環境における動作確認	21

## 1. 概要

本マニュアルでは、SignDK for DocuSign eSignatureを利用してkintone と DocuSign を連携するための初期設定方法について解説します。

## 2. プラグインのインストール

まずは、システム管理者が kintone に SignDK のプラグインをインストールします。

参考:[kintoneにプラグインをインストールする - kintone ヘルプ](#)




The image shows a sequence of three screenshots from the kintone system management interface, illustrating the steps to install a plugin. Red boxes and arrows highlight specific elements, accompanied by numbered instructions in Japanese.

- ① 設定メニューを表示する**: The top navigation menu is open, and the gear icon for settings is highlighted.
- ② 「kintoneシステム管理」をクリック**: The 'kintoneシステム管理' (kintone System Management) option in the settings menu is highlighted.
- ③ 「プラグイン」をクリック**: In the 'kintoneシステム管理' sidebar, the 'プラグイン' (Plugins) option is highlighted.
- ④ 「読み込む」ボタンをクリック**: The '読み込む' (Load) button in the 'プラグイン' section is highlighted.
- ⑤ 「参照」ボタンをクリック**: In the 'プラグインの読み込み' (Load Plugin) dialog, the '参照' (Reference) button is highlighted. A note indicates that the plugin file (SignDK for DocuSign .ZIP) should be selected.
- ⑥ 「読み込む」ボタンをクリック**: The '読み込む' (Load) button in the dialog is highlighted again.

### 3. アプリへのプラグインの追加


システム管理者がプラグインのインストールを行った後は、アプリ管理者が、SignDK を利用するアプリごとに設定を行います。まずは、SignDK を利用するアプリにプラグインを追加します。

**① SignDKをインストールするアプリを開く**



**② 「アプリの設定を変更する」アイコンをクリック**

**③ 「設定」のタブをクリック**




**④ 「プラグイン」をクリック**

**⑤ 「プラグインの追加」をクリック**



**⑥ 先ほど読み込んだプラグインが表示されるのでチェックを付け「追加」ボタンをクリック**



## 4. DocuSignのサンドボックス環境における DocuSign と kintone との連携設定

### 4-1. 「開発者向けアカウント」と「サンドボックス」の作成

続いて、DocuSign 側の設定に入ります。  
SignDKを利用してkintoneとDocuSignを連携するには、DocuSign側でアプリとインテグレーションキーの作成が必要ですが、DocuSign は仕様上、本番環境上で直接作成するのではなく、まず開発環境＝サンドボックスでのレビューを行い、合格する必要があります。

開発環境を利用するには「開発者向けアカウント」が必要ですが、これは誰でも無料で作成することができます。

まずは、開発者向けページにアクセスしアカウントを作成します。

<https://go.docusign.com/sandbox/productshot/>



① 必要事項を記入し「GET STARTED」をクリック

② 確認メールが届くので「ACTIVATE」をクリック

③ パスワードと秘密の質問を設定しアクティブ化する

アカウントのアクティブ化

DocuSignアカウントにサインアップしていただき、ありがとうございます。以下のフィールドに入力して「アクティブ化」をクリックすると、DocuSignの使用を開始できます。

メール

パスワード

パスワードの確認

秘密の質問を設定しアクティブ化する

セキュリティに関する質問

アクティブ化

パスワードを設定しアカウントをアクティブ化すると、自動的にサンドボックス環境にログインした状態になります。

(後からログインし直す場合には、以下のURLからアクセスしてください。)

<https://appdemo.docusign.com/>

初期状態では言語設定が英語になっているので、日本語に変更してから作業すると分かりやすいでしょう。



① 画面右上のアイコンをクリックし「My Preferences」を選択

② 左メニューの「Regional Settings」をクリック

③ 「Language」のプルダウンで「日本語」を選択

④ 「SAVE」ボタンをクリック

DocuSign eSignature

Home Manage Templates Reports Settings

Developer Sandbox Environment

ACCOUNT

Regional Information

Signatures

Privacy & Security

Regional Settings

CONTACTS

SIGNING AND SENDING

Custom Fields

Template Matching

Document Sources

Notifications

Regional Settings

SAVE CANCEL

You can not manage information on your new DocuSign Profile. Click the menu above and choose 'My Profile'.

Time and Date

Match my computer's time zone

Specify a time zone

Date/Time Format

11/29/2020 11:00 AM

Language

日本語

SAVE CANCEL

## 4-2. kintone アプリの「リダイレクト URI」の取得

DocuSign の設定のために、SignDK を利用する (DocuSign と連携したい) kintone アプリのリダイレクト URI を取得します。



① 「設定」のタブをクリック

② 「プラグイン」をクリック

③ 「設定」ボタンをクリック

④ 「プラグインの設定を開く」をクリック



⑤ 「リダイレクトURI」をコピーしメモ帳アプリなどに控えておく

※ 「DocuSign 連携設定」の項目は、後ほどこの画面に戻ってきて設定を行いますので、この時点では設定をしなくて OK です。

### 4-3. DocuSign の「アプリとキー」の設定

続いて、DocuSign のサンドボックス環境と、kintone との連携設定を行います。

**① 「設定」 タブをクリック**



**② 左メニューの「アプリとキー」をクリック**

**③ 「アプリとインテグレーションキーの追加」をクリック**



**APIインテグレーションキーの追加**

**④ アプリ名を入力**

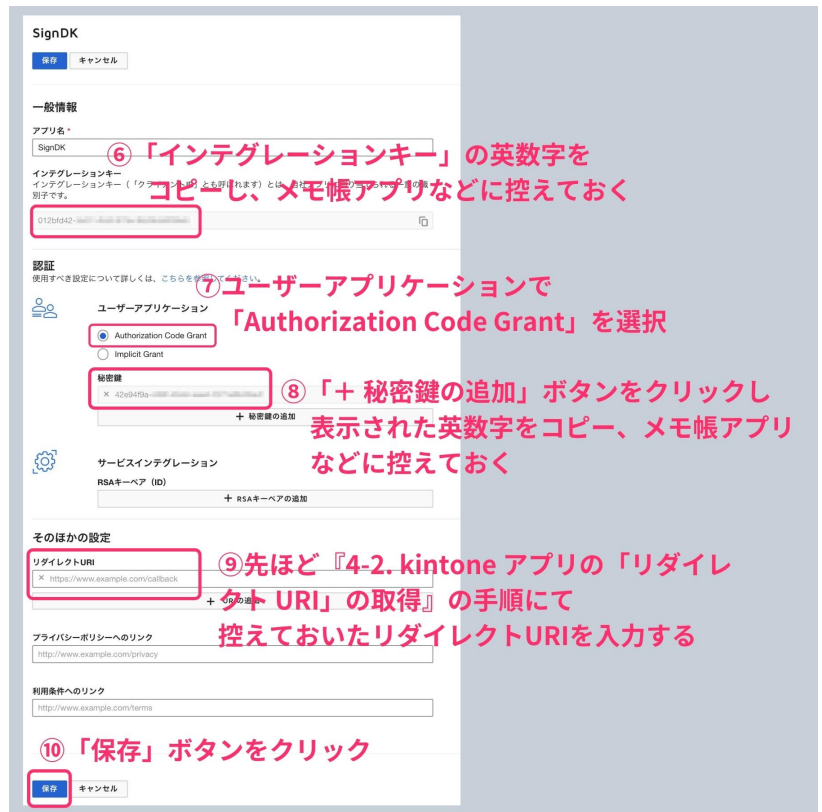
アプリ名 \*

SignDK

追加
キャンセル

※自由に決めていただけますが、分かりやすいように「SignDK」としておくのがおすすめです

**⑤ 「追加」 ボタンをクリック**



**6 「インテグレーションキー」の英数字をコピーし、メモ帳アプリなどに控えておく**

**7 ユーザーアプリケーションで「Authorization Code Grant」を選択**

**8 「+ 秘密鍵の追加」ボタンをクリックし表示された英数字をコピー、メモ帳アプリなどに控えておく**

**9 先ほど『4-2. kintone アプリの「リダイレクト URI」の取得』の手順にて控えておいたリダイレクトURIを入力する**

**10 「保存」ボタンをクリック**

#### 4-4. kintone のフォームの設定

DocuSign のエンベロープと、Kintone のレコードとの紐付けを記録するためのカスタムフィールドを設定します。



**1 SignDKをインストールするアプリを開く**

**2 「アプリの設定を変更する」アイコンをクリック**

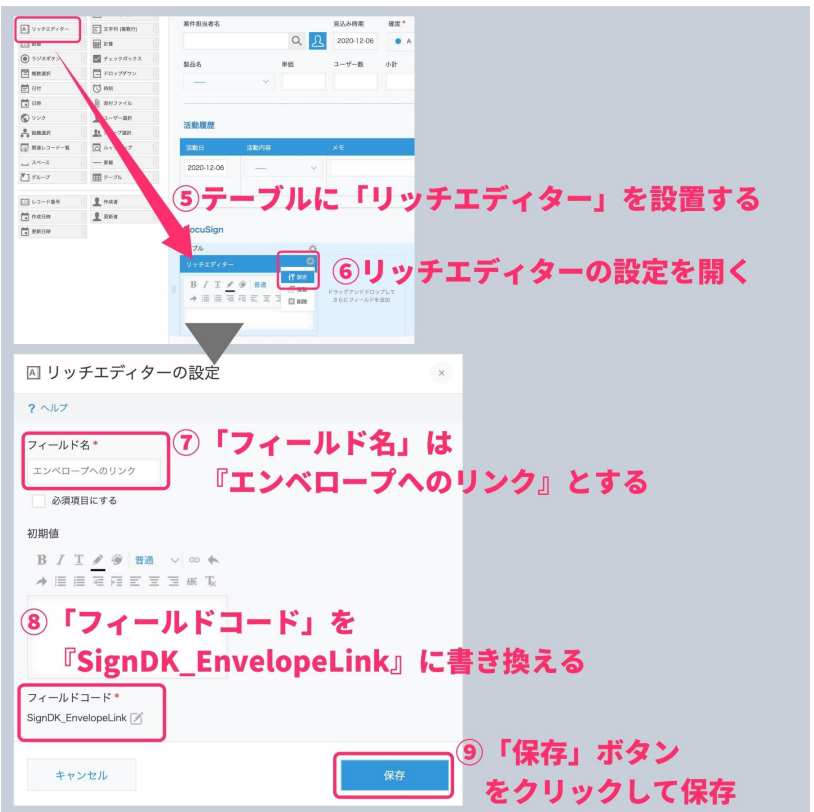
**3 ラベルを設置する（任意）**

**4 フォームに、DocuSignを表示するための「テーブル」を設置する**

テーブルには以下のフィールドが追加できます。

※「エンベロープへのリンク」「ファイル名」「最終更新日時」の追加は必須です。その他のフィールドは、必須ではありませんが、追加を推奨しています。

必須	フィールド名	フィールドの種類	フィールドコード
<input type="checkbox"/>	エンベロープへのリンク	リッチエディター	SignDK_EnvelopeLink
<input type="checkbox"/>	ファイル名	文字列 (複数行)	SignDK_AttachmentName
	件名	文字列 (1行)	SignDK_Subject
	宛名	文字列 (複数行)	SignDK_Recipients
	ステータス	文字列 (1行)	SignDK_Status
	作成日時	日時	SignDK_CreatedDate
<input type="checkbox"/>	最終更新日時	日時	SignDK_LastModifiedDateTime



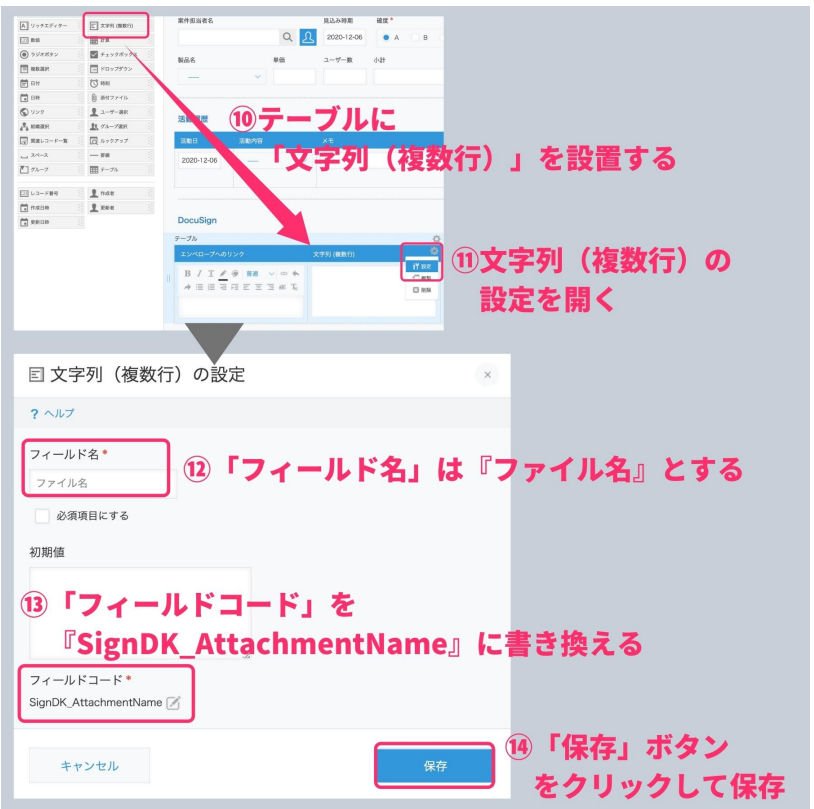
⑤ テーブルに「リッチエディター」を設置する

⑥ リッチエディターの設定を開く

⑦ 「フィールド名」は『エンベロープへのリンク』とする

⑧ 「フィールドコード」を『SignDK\_EnvelopeLink』に書き換える

⑨ 「保存」ボタンをクリックして保存



⑩ テーブルに「文字列 (複数行)」を設置する

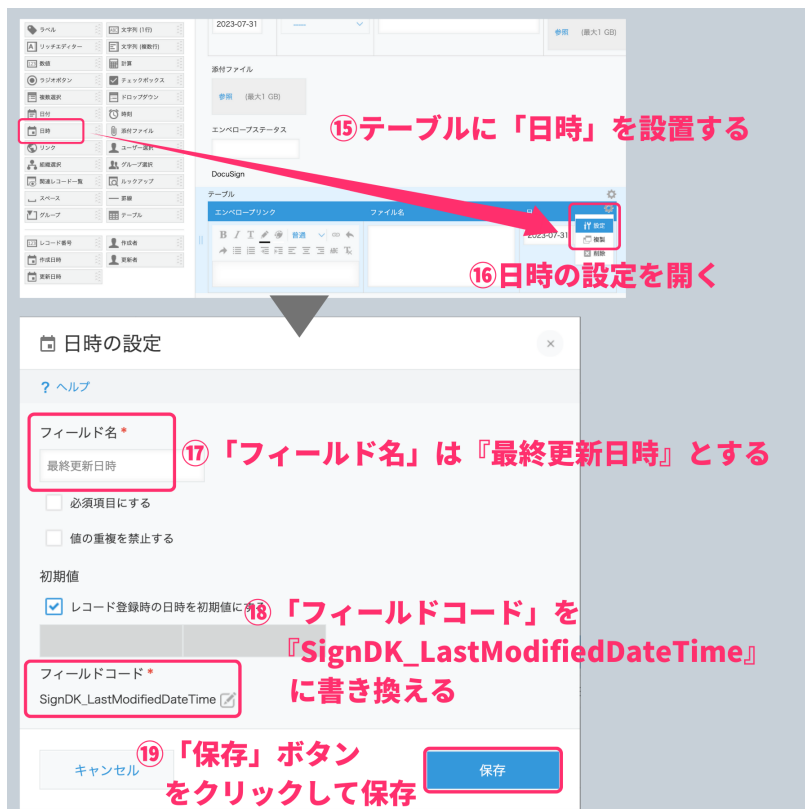
⑪ 文字列 (複数行) の設定を開く

⑫ 「フィールド名」は『ファイル名』とする

⑬ 「フィールドコード」を『SignDK\_AttachmentName』に書き換える

⑭ 「保存」ボタンをクリックして保存





⑮ テーブルに「日時」を設置する

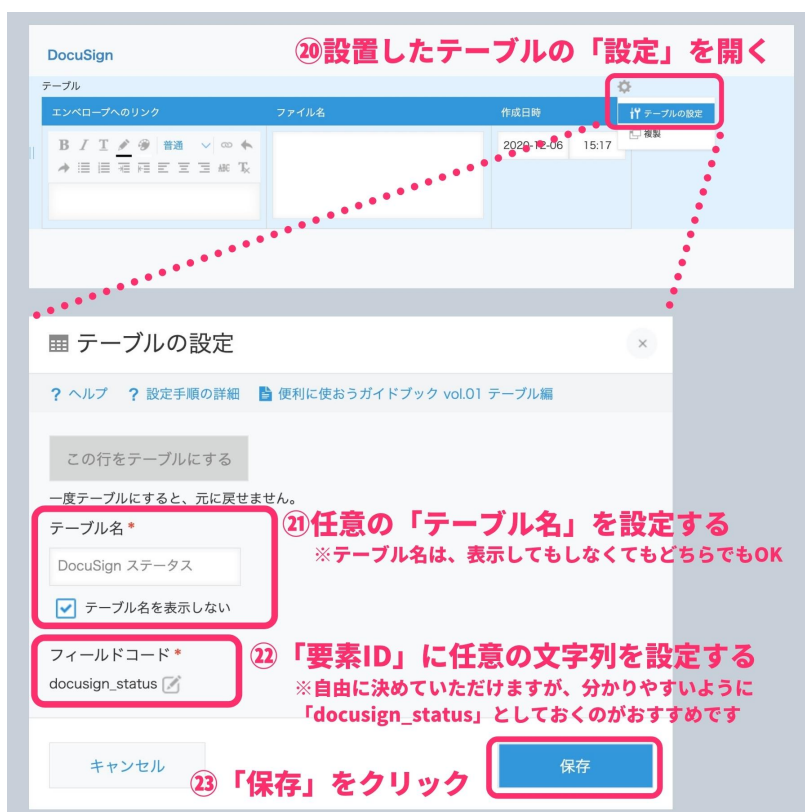
⑯ 日時の設定を開く

⑰ 「フィールド名」は『最終更新日時』とする

⑱ 「フィールドコード」を『SignDK\_LastModifiedDateTime』に書き換える

⑲ 「保存」ボタンをクリックして保存

テーブルの「フィールドコード」(右図の例だと「docusign\_status」)は、この後の設定で使うので、メモ帳などにコピーして控えておきます。



⑳ 設置したテーブルの「設定」を開く

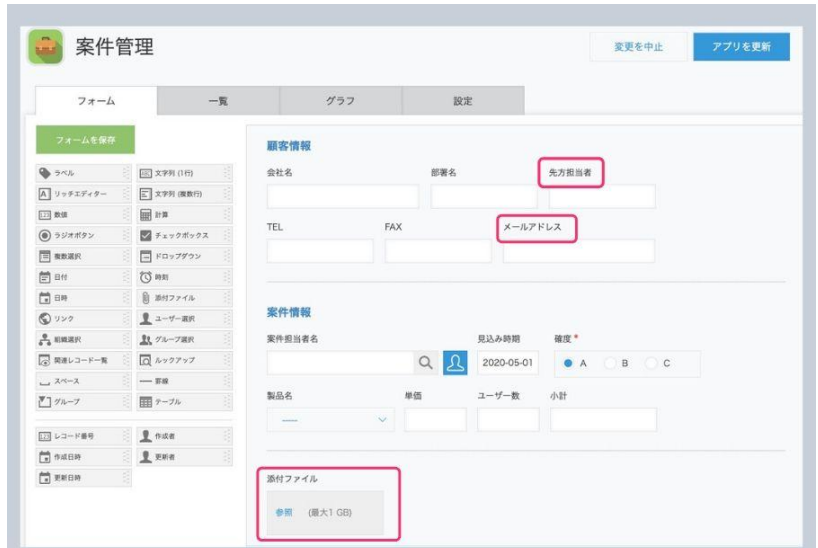
㉑ 任意の「テーブル名」を設定する  
※テーブル名は、表示してもしなくてもどちらでもOK

㉒ 「要素ID」に任意の文字列を設定する  
※自由に決めていただけますが、分かりやすいように「docusign\_status」としておくのがおすすめです

㉓ 「保存」をクリック

#### 4-5. 送信対象添付ファイル設定

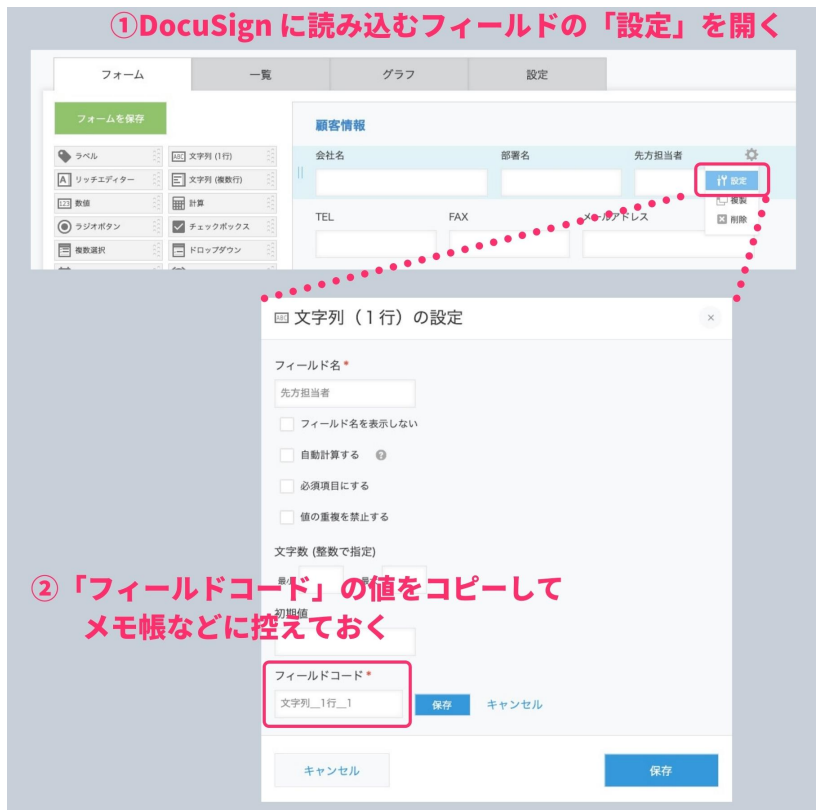
続いて、kintone から DocuSign に送信する添付ファイルフィールドに関する設定を行います。



この例では、kintone の「先方担当者」と「メールアドレス」を DocuSign のエンベロップの受信者の名前・メールとして連携します。

「添付ファイル」のフィールドには DocuSign のエンベロップから連携した契約書のファイルが表示されます。

右図の①②のように、DocuSign のエンベロップの受信者として kintone から取り込む「先方担当者」「メールアドレス」のフィールドの要素 ID と、DocuSign から読み込んだ契約書類を表示する「添付ファイル」のフィールドの要素 ID を、メモ帳アプリなどに控えておきます。

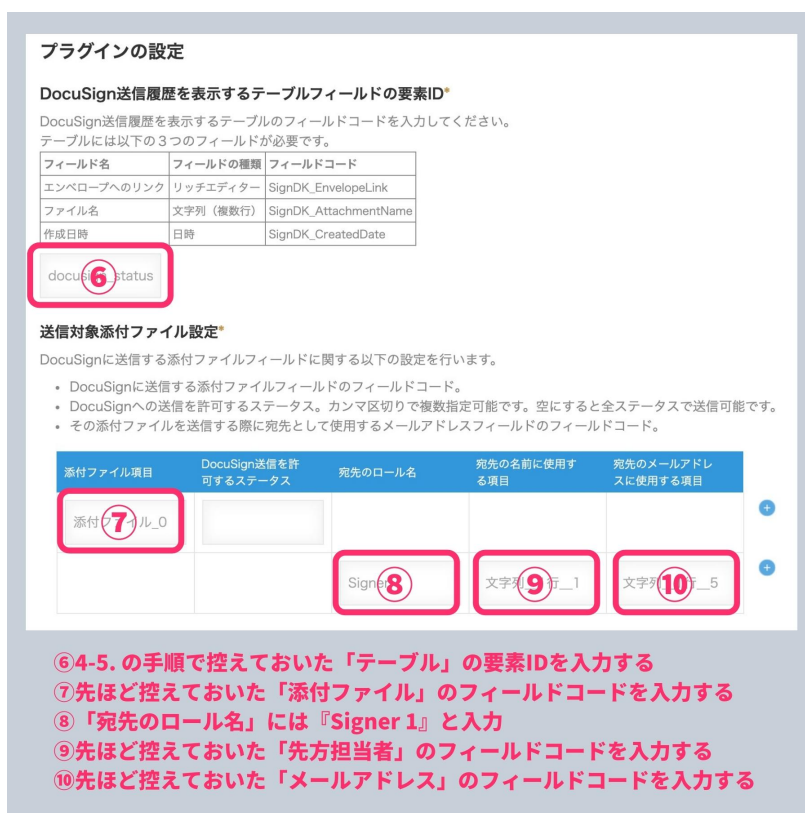




※「DocuSign送信を許可するステータス」について

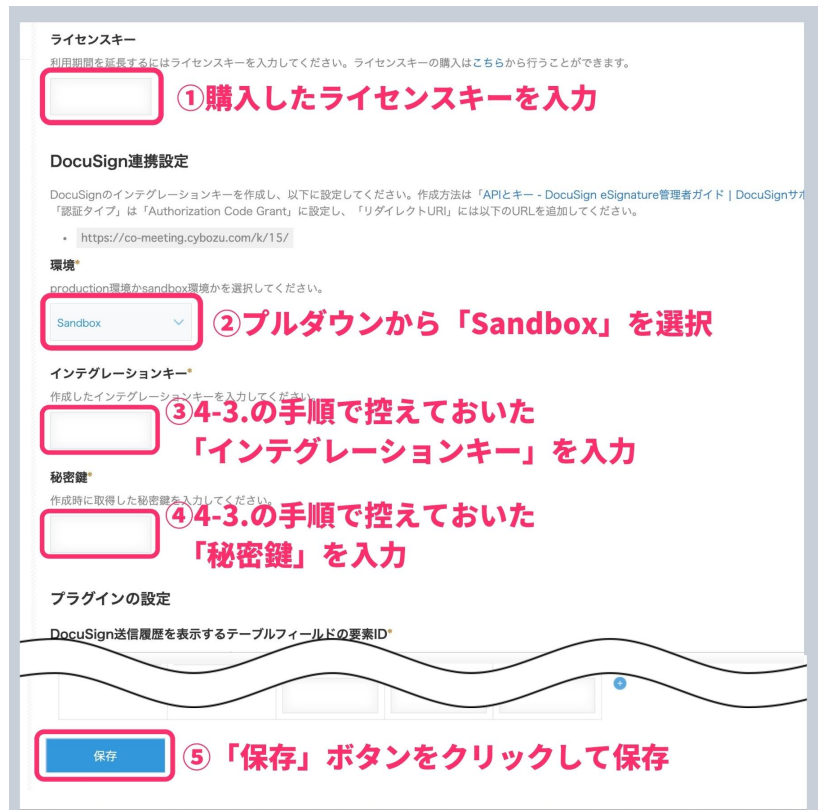
kintone アプリの「プロセス管理」を使用している場合に、特定のステータスにならないと DocuSign に送信ができないように設定をすることも可能です。

プロセス管理を使用していない(あるいは、使用しているが全ステータスで送信を許可する)という場合は、空欄のままで OK です。



## 4-6. DocuSign 連携設定

4-3. DocuSign の「アプリとキー」の設定にて DocuSign から取得した値を、プラグインの DocuSign 連携設定 に入力して保存します。



ライセンスキー  
利用期間を延長するにはライセンスキーを入力してください。ライセンスキーの購入はこちらから行うことができます。

①購入したライセンスキーを入力

DocuSign連携設定  
DocuSignのインテグレーションキーを作成し、以下に設定してください。作成方法は「APIとキー - DocuSign eSignature管理者ガイド | DocuSignサポートセンター」参照。  
「認証タイプ」は「Authorization Code Grant」に設定し、「リダイレクトURL」には以下のURLを追加してください。  
• <https://co-meeting.cybozu.com/k/15/>

環境\*  
production環境かsandbox環境かを選択してください。

②プルダウンから「Sandbox」を選択

インテグレーションキー\*  
作成したインテグレーションキーを入力してください。

③4-3.の手順で控えておいた「インテグレーションキー」を入力

秘密鍵\*  
作成時に取得した秘密鍵を入力してください。

④4-3.の手順で控えておいた「秘密鍵」を入力

プラグインの設定  
DocuSign送信履歴を表示するテーブルフィールドの要素ID\*

⑤「保存」ボタンをクリックして保存



kintone

案件管理 **アプリの設定** プラグイン プラグインの設定

⑥画面上部の「アプリの設定」をクリック

カテゴリ:  
プラグイン  
SignDK for DocuSign

ライセンスの設定  
現在のライセンスは2020年12月31日まで有効です。延長する場合は新しいライセンスキーを購入し、  
ライセンスキー

kintone 木村 寛彦

案件管理 > アプリの設定

⑦「アプリを更新」をクリック

フォーム 一覧 グラフ 設定

アプリ内検索

変更を中止

アプリの変更を運用環境に適用します。よろしいですか？


⑧「OK」をクリック

## 5. サンドボックス環境における動作確認


設定が完了したら、実際に kintone のレコード上で DocuSign の情報が表示できるかどうか、動作確認を行います。

レコードの詳細画面から、DocuSign のサンドボックス環境にログインします。

**①何か適当なレコードを表示する**




**②「DocuSign ログイン」をクリックしサンドボックス環境のアカウントでログインする**




**③DocuSignにログイン後「同意する」をクリック**

**添付ファイルのフィールドに「DocuSign に送信」ボタンが表示される**




**DocuSign にログインしている旨が表示される**




添付ファイルフィールドに「DocuSign に送信」ボタンが現れます。

ボタンをクリックして、kintone のレコードに添付されたデータが、DocuSign のエンベロープに送信できるかをテストします。

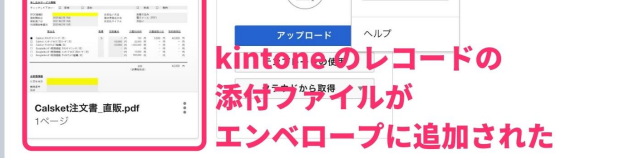
**④添付ファイルフィールドの「DocuSign に送信」をクリック**



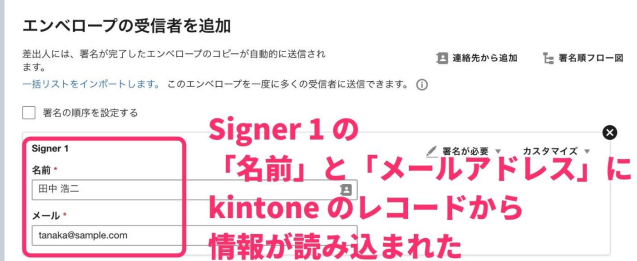
**⑤「保存して閉じる」をクリック**



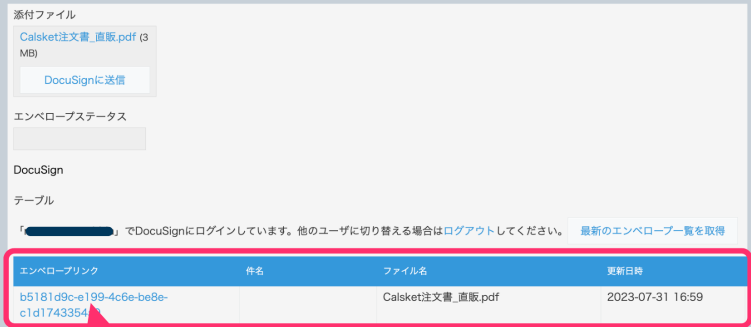
**kintoneのレコードの添付ファイルがエンベロープに追加された**



**Signer 1の「名前」と「メールアドレス」にkintoneのレコードから情報が読み込まれた**



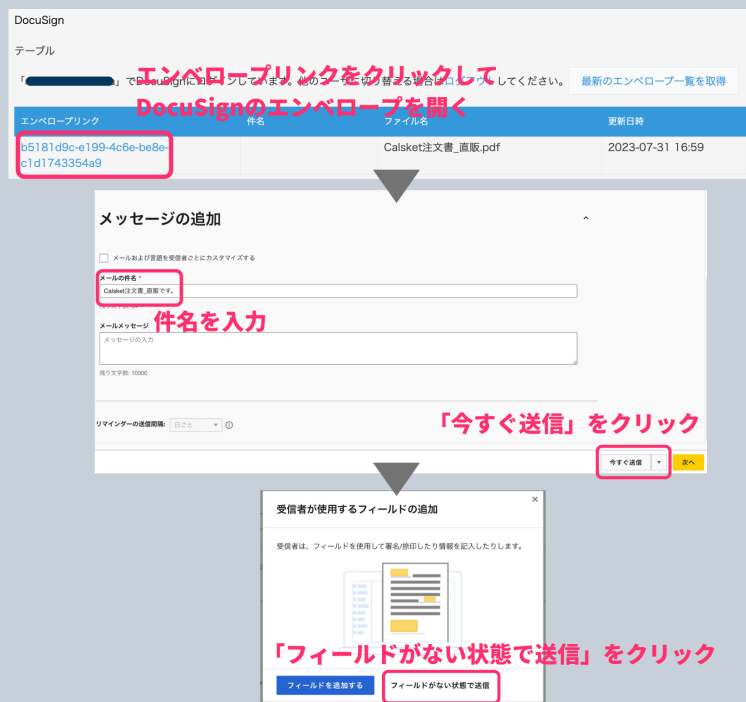
⑥ kintone のレコード詳細画面に戻り、「DocuSign」のテーブルにエンベロープの情報が表示されることを確認する



※後から DocuSign のエンベロープに戻って作業するときには「エンベロープへのリンク」をクリックする


次に、DocuSignで編集したエンベロープを、kintoneへ取り込めるかのテストをします。  
DocuSignのエンベロープを開きます。

⑦ DocuSignのエンベロープに戻ってメッセージを追加する。



kintoneのレコード詳細画面に戻り、「最新のエンベロープ一覧を取得」を実行することで、テーブルが更新されます。

**⑧ kintone のレコード詳細画面に戻り、最新のエンベロープ一覧を取得する**



DocuSign  
テーブル  
「[ユーザー名]」でDocuSignにログインしています。他のユーザに切り替える場合はログアウトしてください。 [最新のエンベロープ一覧を取得](#)

エンベロープリンク	件名	ファイル名	更新日時
b5181d9c-e199-4c6e-be8e-c1d1743354a9		Calsket注文書_直販.pdf	2023-07-31 16:59

最新のエンベロープ一覧を取得

現在のエンベロープ一覧がすべて上書きされます。  
よろしいですか?  
**「OK」をクリック**

OK キャンセル

DocuSign  
テーブル  
「[ユーザー名]」でDocuSignにログインしています。他のユーザに切り替える場合はログアウトしてください。 [最新のエンベロープ一覧を取得](#)

エンベロープリンク	件名	ファイル名	更新日時
b5181d9c-e199-4c6e-be8e-c1d1743354a9	Calsket注文書_直販です。	Calsket注文書_直販.pdf Summary	2023-08-01 14:13

件名が更新されている

少し待つと、ページが自動で更新されます。

## 6. API キーのレビュー

### 6-1. kintone 側での API のレビュー

ここまで、DocuSign のサンドボックス環境で作業を行ってきましたが、引き続き本番環境と連携するための設定を行います。

DocuSign のAPI キーを DocuSign の本番環境で使用するには、まずサンドボックス環境のAPI キーをレビューし、合格する必要があります。

まずは、このレビューに合格するための作業を行います。

フォーム 一覧 グラフ **設定**

① 「設定」のタブをクリック

カスタマイズ/サービス連携 **プラグイン** ② 「プラグイン」をクリック

プラグイン	説明	言語ごとの名称
JavaScript / CSSでカスタマイズ		
APIトークン		レコードのタイトル
Webhook		高度な設定
		アクション

③ 「設定」ボタンをクリック

DocuSign for DocuSign

必須項目が設定されていません。  
DocuSign x kintone連携プラグイン、kintoneのレコードに添付したファイルをドキュサインへと送信し、kintone上で署名の進捗確認が確認できます。

④ 「APIキーのレビューを開く」をクリック

APIキーのレビュー  
APIキーのレビューを開く

⑤ ボタンが青く変化するのでクリックする

APIキーのレビュー  
レビュー用にDocuSign APIを実行

DocuSignにログイン  
「Michikazu Fujimori」でDocuSignにログイン

レビュー用にDocuSign APIを実行

kintone 側でのレビューが完了すると、画面上部に緑のダイアログが表示されます。



APIキーのレビュー

DocuSignにログイン

「矢野 貴明」でDocuSignにログインしています。他の...

レビュー用にDocuSign APIを実行

APIキーをDocuSignの本番環境で使用するにはSandbox環境のA以下のボタンをクリックするとレビューに合格するようにDocuSignのAPIキーをDocuSign eSignature管理者からDocuSignに発行し、レビューが通ったら本番環境用のAPIキーを発行できますので、

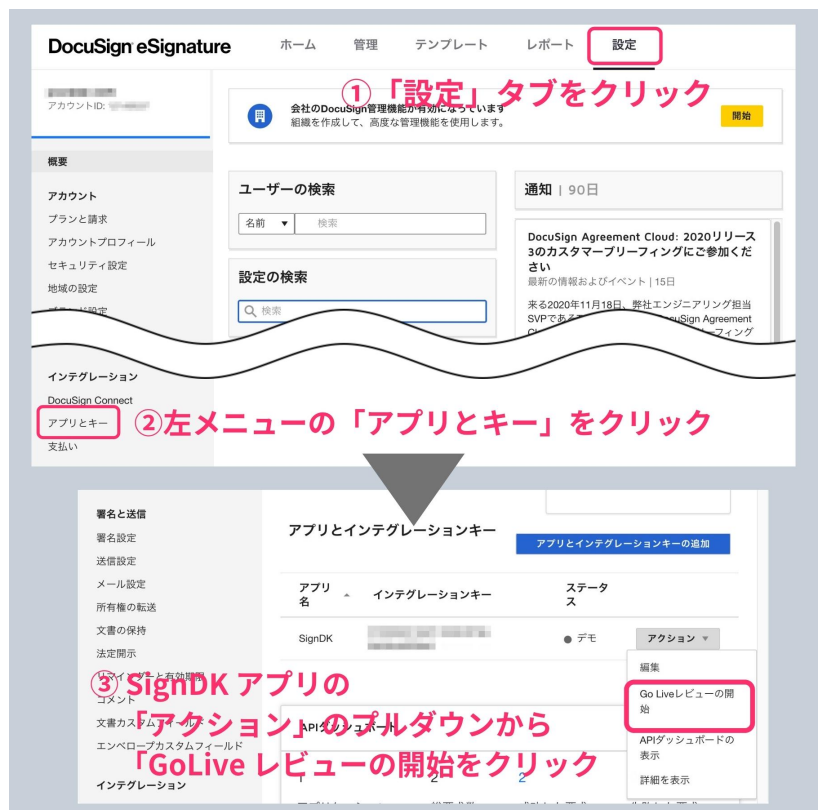
レビュー用にDocuSign APIを実行 7 / 20

DocuSign APIの実行が完了しました。DocuSignの設定画面よりAPI利用ログを確認し、確認ができたならレビューを申請してください。

処理が完了すると、画面上部に緑のダイアログが表示される

## 6-2. DocuSign 側での API のレビューの開始

続いて、DocuSign 側で API のレビューを開始し、レビューを薦める準備を進めます。



DocuSign eSignature

ホーム 管理 テンプレート レポート **設定**

① 「設定」タブをクリック

概要

アカウント

プランと請求

アカウントプロフィール

セキュリティ設定

地域の設定

インテグレーション

DocuSign Connect

アプリとキー

支払い

ユーザーの検索

設定の検索

通知 | 90日

DocuSign Agreement Cloud: 2020リリース3のカスタマーブリーフィングにご参加ください

最新の情報およびイベント | 15日

来る2020年11月18日、弊社エンジニアリング担当 SVPである... DocuSign Agreement... ブリーフィング

② 左メニューの「アプリとキー」をクリック

署名と送信

署名設定

送信設定

メール設定

所有権の転送

文書の保持

法定開示

APIのレビュー

③ SignDK アプリの「アクション」のプルダウンから「Go Liveレビューの開始」をクリック

アプリとインテグレーションキー

アプリとインテグレーションキーの追加

アプリ名	インテグレーションキー	ステータス	アクション
SignDK		デモ	Go Liveレビューの開始

編集

APIダッシュボードの表示

詳細を表示



**アプリのレビュー要求**

レビューに合格するための要件:

- 過去30日間で20回のAPIコール。
- 直前の20回のAPIコールが成功しました。
- DocuSignのAPIガイドラインおよびリソース制限に準拠していること。

① レビューには最大で20分かかります。

**④ 「レビューへの送信」をクリック**

レビューへの送信      キャンセル

**アプリとインテグレーションキー**      [アプリとインテグレーションキーの追加](#)

アプリ名	インテグレーションキー	ステータス	
SignDK	[Redacted]	● レビュー合格	アクション ▼

**しばらく待ってからページをリロードしステータスが「レビュー合格」になっていればOK**

## 7. DocuSign 本番環境へのリリース

### 7-1. サンドボックス環境から本番環境へのアプリのリリース

レビューが無事完了したら、DocuSign の本番環境へのリリース作業を行います。

**アプリとインテグレーションキー**      [アプリとインテグレーションキーの追加](#)

アプリ名	インテグレーションキー	ステータス	
SignDK	[Redacted]	● レビュー合格	アクション ▼

**① サンドボックス環境にて SignDK アプリの「アクション」のプルダウンから「Go-Live アカウントの選択」をクリック**

編集  
Go-Liveアカウントの選択  
レビュー結果  
APIダッシュボードの表示  
詳細を表示

**実稼働環境のアカウントにログイン**

このインテグレーションキーを管理する実稼働アカウントにログインします。

次へ      キャンセル

**② 「次へ」をクリック**

## DocuSign

アカウントにログインしてください

メールアドレス

続行

新しいアカウントが必要な場合は無料でサインアップできます

**③本番環境のアカウントでログイン**

日本語 ヘルプ 条件 知的財産権 プライバシーポリシー  
Copyright © 2020 DocuSign, Inc. All rights reserved.

**利用規約**

**④チェックを付ける**

[同意する] をクリックすると、利用規約およびプライバシーポリシーに同意したことになります。

**⑤「同意する」をクリック**

同意する キャンセル

**実稼働環境のアカウントを選択**

このインテグレーションキーを管理する実稼働アカウントを選択します。

株式会社co-meeting - [redacted]

**⑦「選択」をクリック**

選択 キャンセル

アプリとインテグレーションキー アプリとインテグレーションキーの追加

**サンドボックス環境でステータスが「ライブ」に変わる**

アプリ名	インテグレーションキー	ステータス	アクション
SignDK	[redacted]	<b>ライブ</b>	アクション

アプリとインテグレーションキー

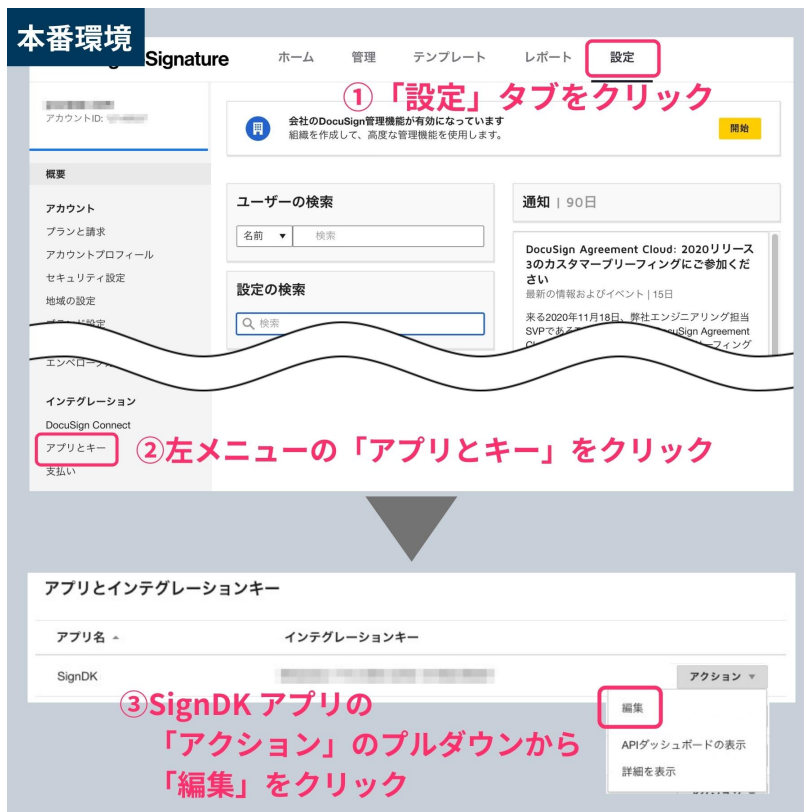
アプリ名	インテグレーションキー	アクション
SignDK	[redacted]	アクション

**本番環境の「アプリとインテグレーションキー」にアプリが追加される**

## 7-2. 本番環境にて「アプリとキー」を設定する

続いて、本番環境で「アプリとキー」の設定を行います。

『4-3. DocuSign の「アプリとキー」の設定』にて行った手順と同一ですが、本番環境にリリースしたアプリは、サンドボックスのものとはインテグレーションや秘密鍵が異なるため、改めて設定が必要です。



**本番環境**    Signature    ホーム    管理    テンプレート    レポート    **設定**

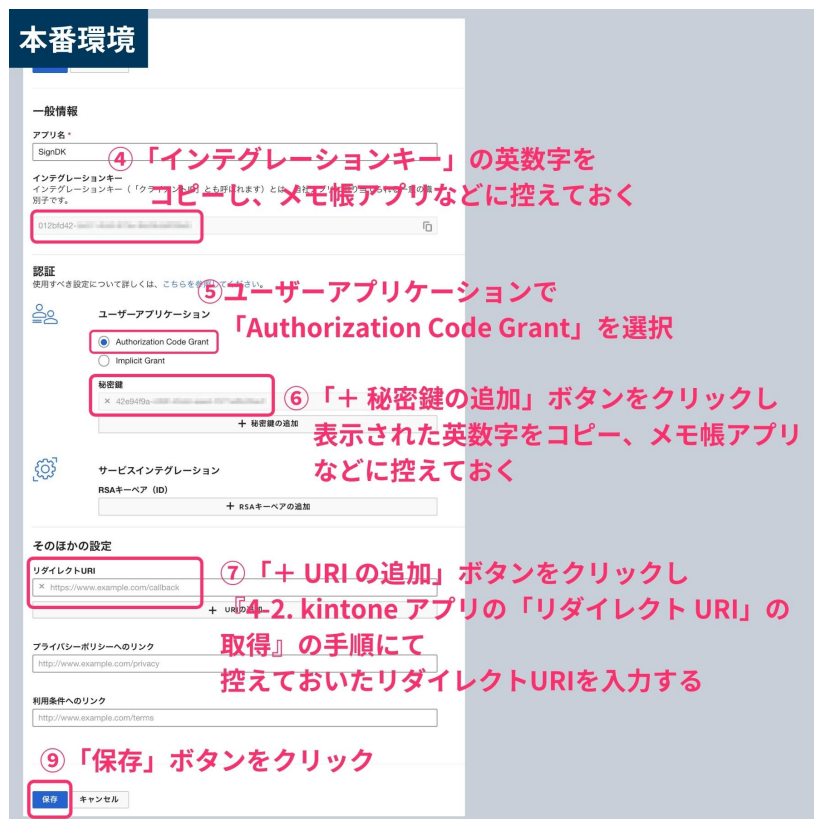
① 「設定」タブをクリック

② 左メニューの「アプリとキー」をクリック

③ SignDK アプリの「アクション」のプルダウンから「編集」をクリック

アプリとインテグレーションキー

アプリ名	インテグレーションキー	アクション
SignDK		編集



**本番環境**

④ 「インテグレーションキー」の英数字をコピーし、メモ帳アプリなどに控えておく

⑤ ユーザーアプリケーションで「Authorization Code Grant」を選択

⑥ 「+ 秘密鍵の追加」ボタンをクリックし表示された英数字をコピー、メモ帳アプリなどに控えておく

⑦ 「+ URI の追加」ボタンをクリックし『4-2. kintone アプリの「リダイレクト URI」の取得』の手順にて控えておいたリダイレクトURIを入力する

⑧ 「保存」ボタンをクリック

一般情報

アプリ名: SignDK

インテグレーションキー: 0126d4d2-...

認証

ユーザーアプリケーション

Authorization Code Grant

秘密鍵: 42e949a-...

サービスのインテグレーション

リダイレクトURI: https://www.example.com/callback

プライバシーポリシーへのリンク: http://www.example.com/privacy

利用条件へのリンク: http://www.example.com/terms

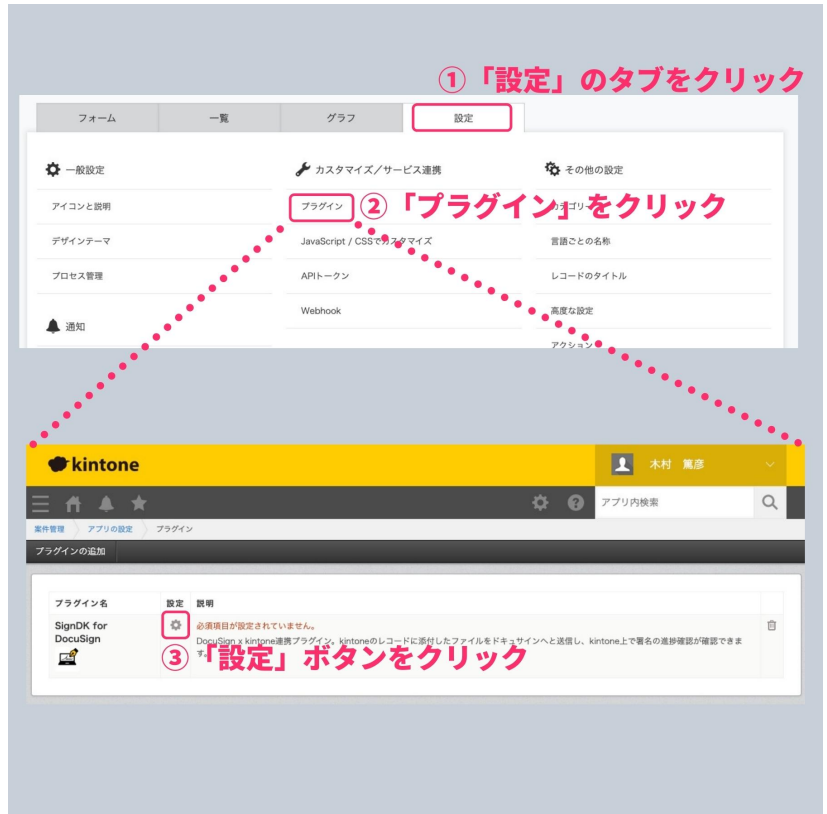
保存    キャンセル



## 8. kintone のプラグイン設定の更新

### 8-1. インテグレーションキーと秘密鍵の更新

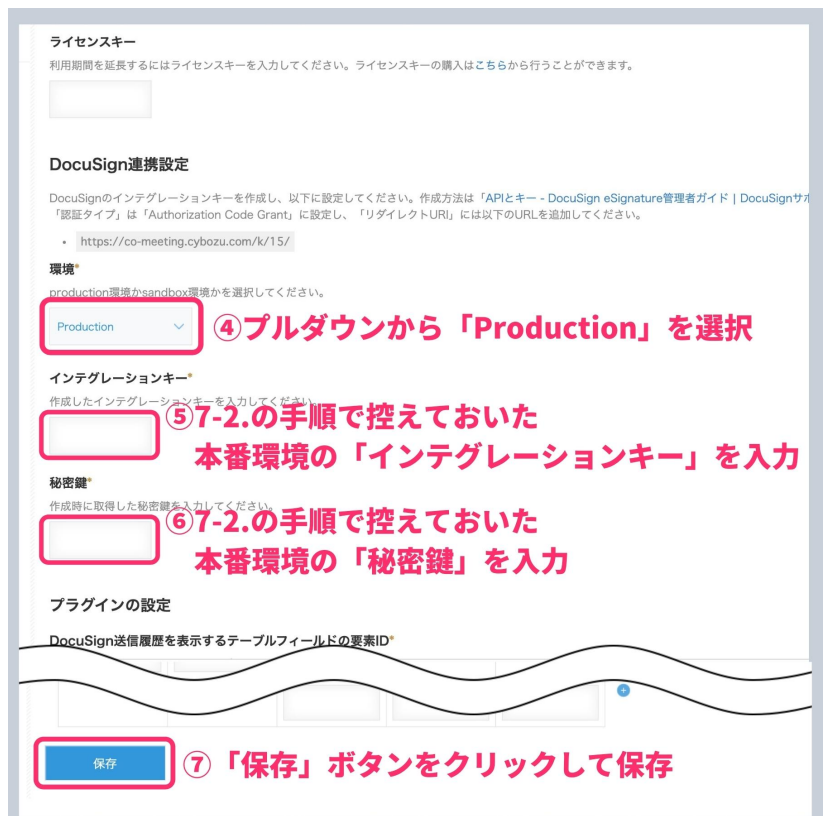
続いて、kintone のプラグイン設定に入力されている「インテグレーションキー」と「秘密鍵」を、7-2. の手順で取得した本番環境のものに更新します。



① 「設定」のタブをクリック

② 「プラグイン」をクリック

③ 「設定」ボタンをクリック



ライセンスキー  
利用期間を延長するにはライセンスキーを入力してください。ライセンスキーの購入はこちらから行うことができます。

DocuSign連携設定  
DocuSignのインテグレーションキーを作成し、以下に設定してください。作成方法は「APIとキー - DocuSign eSignature管理者ガイド | DocuSignサポート」の「認証タイプ」は「Authorization Code Grant」に設定し、「リダイレクトURL」には以下のURLを追加してください。

- ・ <https://co-meeting.cybozu.com/k/15/>

環境\*  
production環境かsandbox環境かを選択してください。

④ プルダウンから「Production」を選択

インテグレーションキー\*  
作成したインテグレーションキーを入力してください。

⑤ 7-2.の手順で控えておいた本番環境の「インテグレーションキー」を入力

秘密鍵\*  
作成時に取得した秘密鍵を入力してください。

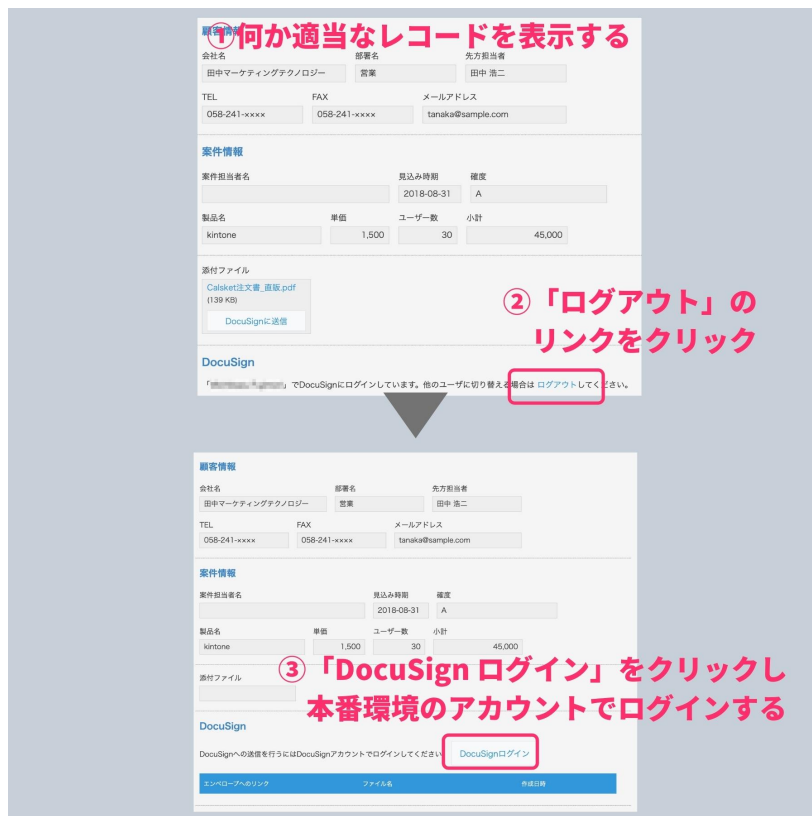
⑥ 7-2.の手順で控えておいた本番環境の「秘密鍵」を入力

プラグインの設定  
DocuSign送信履歴を表示するテーブルフィールドの要素ID\*

⑦ 「保存」ボタンをクリックして保存

## 8-2. kintone プラグインで DocuSign 本番環境へログイン

「5. サンドボックス環境における動作確認」にて、kintone 上でDocuSign のサンドボックス環境にログインしたままになっているので、本番環境へログインし直します。



**① 何か適当なレコードを表示する**

顧客情報  
 会社名 田中マーケティングテクノロジー 部署名 営業 先方担当者 田中 浩二  
 TEL 058-241-xxxx FAX 058-241-xxxx メールアドレス tanaka@sample.com

案件情報  
 案件担当者名 見込み時期 確度  
 2018-08-31 A  
 製品名 単価 ユーザー数 小計  
 kintone 1,500 30 45,000

添付ファイル  
 Caskey注文書\_直販.pdf (139 KB)  
[DocuSignに送信](#)

DocuSign  
 「[ユーザー名]」でDocuSignにログインしています。他のユーザに切り替えの場合は ログアウトしてください。

**② 「ログアウト」のリンクをクリック**

顧客情報  
 会社名 田中マーケティングテクノロジー 部署名 営業 先方担当者 田中 浩二  
 TEL 058-241-xxxx FAX 058-241-xxxx メールアドレス tanaka@sample.com

案件情報  
 案件担当者名 見込み時期 確度  
 2018-08-31 A  
 製品名 単価 ユーザー数 小計  
 kintone 1,500 30 45,000

添付ファイル

DocuSign  
 DocuSignへの送達を行うにはDocuSignアカウントでログインしてください [DocuSignログイン](#)

**③ 「DocuSign ログイン」をクリックし本番環境のアカウントでログインする**

エンバロープへのリンク ファイル名 作成日時

## 9. 本番環境における動作確認

最後に、[「5. サンドボックス環境における動作確認」](#)と同様に、kintone と DocuSign の本番環境とが問題なく連携できているか、動作を確認します。

以上で、SignDK の初期設定は完了です。